TLS1.2 での接続を有効にする方法(※Microsoft Edge の例)

<TLS1.2以上での接続の推奨について>

暗号化通信においては、かねてより TLS1.1、TLS1.0 及び SSL3.0 以前のプロトコルでの 接続について脆弱性が指摘されているところであり、JWNET への接続は TLS1.2 以上での 接続を推奨いたします。

なお設定の変更にあたっては社内のセキュリティ担当者にもご確認ください。

<TLS1.2 での接続を有効にする方法>※Microsoft Edge の例

①左下のスタートメニューをクリックし、[Windows システムツール]→[コントロールパネル]をクリックする。



②[ネットワークとインターネット]をクリックする。



③[インターネットオプション]をクリックする。



④[詳細設定]タブを選択し、「TLS1.2 の使用」にチェックを入れる。[適用]→[OK]をクリッ クし、Microsoft Edge を再起動する。

							?	×
全般	セキュリティ	プライバシー	コンテンツ	接続	プログラム	詳細設定	1	
設定								-
 ▲ セキュリティ ◇ DOM ストレージを有効にする □ Internet Explorer でアクセスしたサイトにトラッキング拒否要求を送信す ◇ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に答: □ SSL 3.0 を使用する □ TLS 1.0 を使用する □ TLS 1.1 の使用 ◇ TLS 1.2 の使用 ◇ TLS 1.3 を使用する (試験段階) ◇ Windows Defender SmartScreen を有効にする ○ サーバーの証明書失効を確認する* ○ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ◇ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする 								
*コンピューターの再起動後に有効になります								
					詳細設	定を復元(<u>R</u>)		
Internet Explorer の設定をリセット								
Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 リセット(S)								
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。								
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)								